

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 27 年 3 月 12 日 (2015.3.12)

【公開番号】特開 2012-186159 (P2012-186159A)

【公開日】平成 24 年 9 月 27 日 (2012.9.27)

【年通号数】公開・登録公報 2012-039

【出願番号】特願 2012-29014 (P2012-29014)

【国際特許分類】

H 0 5 B 33/02 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

H 0 5 B 33/28 (2006.01)

H 0 5 B 33/26 (2006.01)

H 0 5 B 33/12 (2006.01)

【 F I 】

H 0 5 B 33/02

H 0 5 B 33/14 A

H 0 5 B 33/28

H 0 5 B 33/26 Z

H 0 5 B 33/12 B

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 1 月 22 日 (2015.1.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の電極と第 2 の電極の間に発光性の有機化合物を含む有機 E L 層が設けられた構造を一方の面に備え、他方の面に第 1 の光学構造体を備える第 1 の基板と、

一方の面が前記第 1 の基板の一方の面と対向し、他方の面に第 2 の光学構造体を備える第 2 の基板と、を有し、

前記第 1 の電極は前記第 1 の基板と前記第 2 の電極の間に位置し、

前記第 1 の電極は第 1 の光透過導電膜および第 1 の光反射導電膜を有し、

前記第 2 の電極は第 2 の光透過導電膜および第 2 の光反射導電膜を有し、

前記有機 E L 層は、前記第 1 の光透過導電膜と前記第 2 の光反射導電膜に接して挟まれた第 1 の発光領域と、前記第 1 の光反射導電膜と前記第 2 の光透過導電膜に接して挟まれた第 2 の発光領域を有し、

前記第 1 の光学構造体は、前記第 1 の発光領域と重畳し、且つ前記第 1 の光学構造体の端部より前記第 1 の発光領域の端部が内側に位置し、

前記第 2 の光学構造体は、前記第 2 の発光領域と重畳し、且つ前記第 2 の光学構造体の端部より前記第 2 の発光領域の端部が内側に位置することを特徴とする発光装置。

【請求項 2】

前記第 2 の発光領域が前記第 1 の発光領域と重ならない場所に位置する、請求項 1 に記載の発光装置。

【請求項 3】

前記第 1 の光透過導電膜および前記第 2 の光透過導電膜は、400nm 以上 700nm 以下の波長の光に対して 70% 以上の光透過率を有し、

前記第 1 の光反射導電膜および前記第 2 の光反射導電膜は、400 nm 以上 700 nm 以下の波長の光に対して 50 % 以上の光反射率を有する、請求項 1 または請求項 2 に記載の発光装置。

【請求項 4】

前記第 1 の光学構造体の径が、前記第 1 の光学構造体と重畳する前記第 1 の発光領域の径に対して 1.1 倍以上 3 倍以下であり、

前記第 2 の光学構造体の径が、前記第 2 の光学構造体と重畳する前記第 2 の発光領域の径に対して 1.1 倍以上 3 倍以下である、請求項 1 乃至請求項 3 のいずれか一項に記載の発光装置。